

2024(令和6)年度
ニセコ町幼児センター運営方針

園児数 141名 (令和6年4月1日現在)			
ひよこ組(0歳)	2名	きつね組(3歳)	27名
りす組(1歳)	17名	ひつじ組(4歳)	38名
うさぎ組(2歳)	18名	くま組(5歳)	39名

1 保育・教育目標

きらっとかがやく かしこい子 あかるい子 げんきな子

保育の姿

- ・自分で考え工夫する
- ・いろいろなことに興味・関心をもつ
- ・自分の気持ちを伝える

- ・身近な人に親しみを持つ
- ・いつもやさしく思いやりの気持ちをもつ
- ・ルールを守り行動する

- ・体を十分に動かし遊ぶ
- ・楽しく食事する
- ・生活のリズムを作り元気に遊ぶ

2 目標達成への土台…意識する毎日の“キーワード”

※「子ども」「家庭(親)」「園(先生)」～皆の力で“安全で安心、楽しい幼児センター”を目指し、子どもたちの健やかな成長を支援する。

安全

安心

楽しい

幼児センター
“きらっと”

★子どもにとって

- きけんな所や物がない
- 善悪や安全を考え行動する
- 先生が優しく信頼できる
- たくさんおもちゃがある
- 自分を認めてくれる
- いろいろな遊びがある
- 大好きな先生や友達がいる
- 給食やおやつが楽しみだ

★家庭(親)にとって

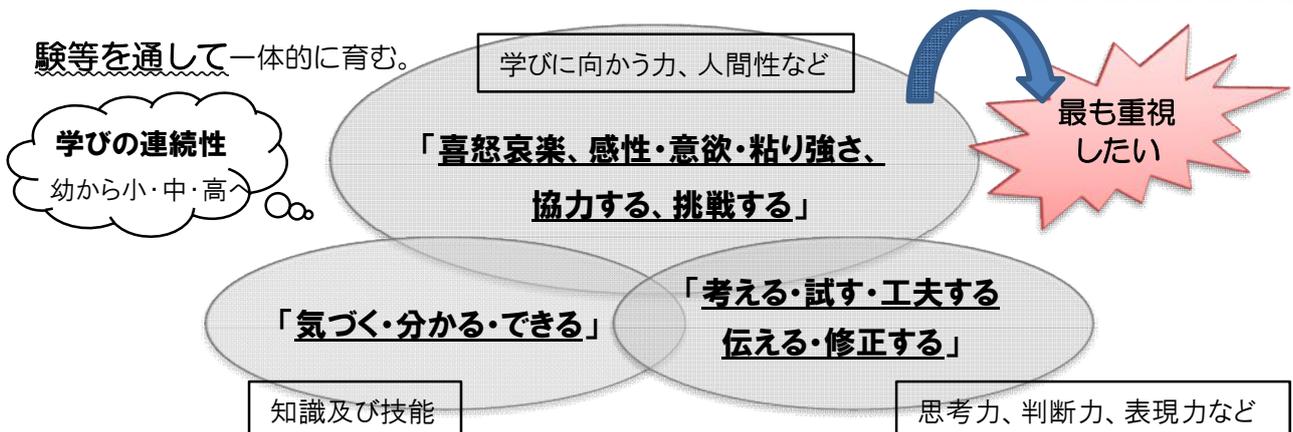
- 感染症対策が適切である
- 細かな情報がある
- 子どもの様子をしっかり見てくれる
- 子育ての相談ができる
- 親子で楽しめる行事がある
- 子どもが楽しく通っている
- 子どもの成長が感じられる

★園(先生)にとって

- 組織的に感染症予防や防犯・防災対策に取り組む
- 施設設備の修繕更新が適切
- 職員のコミュニケーションがとれ協力し合える
- ストレスを与えずためない
- アイデアを出し合い、充実した保育ができる

3 具体的な取組の重点

① 「生きる力」の基礎となる幼児教育において育みたい3つの柱を、日常の遊びや生活、様々な体験等を通して一体的に育む。



② 規範意識・体験活動・英語学習

○子どもの特性をふまえた、より効果的な保育・幼児教育の推進

○「**英語タイム**」(3年次)を通じた、外国人の文化や英語に触れ親しむ機会の創設と推進

(ねらい)○小学校英語へのステップとして、遊びを通して英語の音やリズムに慣れ親しむ。

○異なる言語や文化に触れることで、多様性への寛容力を育む。

(内容)・歌、踊り、ゲーム、読み聞かせなど楽しく英語に触れることができるもの。

(方法)・担当職員とALTによるTTで年長(5歳)及び年中(4歳)を対象に週1~2回20~30分の実施とする。

③ 組織の活性化と園務分掌の具現化

○園務分掌による業務内容の確認 ・報告、相談、連絡など連携の強化 ・園務分掌計画作成

④ 研究・研修の充実

○新たな研究テーマ設定と課題解決に向けた研究活動の推進、**リズム運動の体系化と実践的研修**

○資質・能力の向上を目指した園内外研修会への参加

⑤ 環境構成

○子どもが安心して過ごし、様々な事象に

興味・関心を広げる環境づくり

・リズム感覚や集中力の向上を促し、体幹を鍛え健全な心身の成長を目指すリズム運動について研修を深め実践する
・体系化、実践の継続化を図る

○子どもの豊かな感性を育み、親子の絆を深める「**絵本タイム**」の取組の充実

⑥ 保護者及び地域との連携

○登降園時の**保護者との連携交流** ○懇談会・保育参観

○園だより・クラス通信(コドモンの積極的活用)

○**おたすけまんの会**(主にお父さん達によるボランティア活動)によるセンター内外の環境整備

○保護者アンケート ○**コミュニティ・スクール(地域力)の活用** ○**CS委員との積極的な連携**

○**学校支援ボランティア(CS)・保護者ボランティアの活用** ○関係機関との連携

○寿大学など**高齢者や地域住民**と遊びやゲーム、昔の遊び、歌や踊り、楽器演奏など交流活動の実施

・0歳児~2歳児を対象。
・幼児センターで読み聞かせした絵本を家庭でも読み聞かせし、絵本に親しむ習慣を身につける。

・子どもの支援を多く必要とする活動について積極的に地域人材(CSなど)や保護者の活用を図る。
(※くま組イワオ登山、ひつじ組・くま組プール遊び)→継続する。他の活動について活用を検討する。
・**幼児センター担当CS委員会を年3回実施し、積極的な意見交換や人材発掘等の情報収集を図る。**

⑦ 特別支援教育の充実

○保護者及び町保健師・専門機関との連携 ○個別の教育支援計画 ○特別支援研修会

⑧ 町内小・中・高校・大学との連携

○参観日や行事等への参加 ○保育参観・授業参観等、教職員・保育士相互の連携、交流

○**小学校1年生と年長児**の継続的な連携、交流(R3,4,5~鬼ごっこ、ニ小フェスティバル等)

○**中学生及び高校生との交流**(中学生~手作りおもちゃ作成 高校生~菜園交流、おひさま交流)

○**札幌国際大学短期学部保育学科**と連携し、学生による英語絵本の読み聞かせ及び交流活動を行う。

4 子育て支援

○親が安心して子育てを行い、子どもたちが健やかに成長するための環境づくりと支援を積極的に努める。

- ・おひさま開放
- ・出張遊び教室
- ・保育開放
- ・子育て講座開催

